



大地のけやき

校訓 自主自律

学ぶ意欲 思いやる心 行動する力

学校教育目標

気づき 考え 実行する心豊かな生徒

生徒数 416名 1年 142名 2年 130名 3年 144名

生徒たちの生き生きとした姿が感じられました

私たちの生活を脅かしていた新型コロナウイルスの感染拡大も収束に向かっているようです。冬の到来に合わせて第6波の到来が危惧されますが、10月以降、感染対策に手は抜かずも、いつもの学校生活がほぼ戻ってきています。そんな秋の爽やかな空気の中、10月15日(金)に第45回体育祭を開催しました。保護者の方々からは参観の希望が寄せられましたが、市の対応として無観客開催と決められていましたので、ご容赦ください。

このコロナ禍にあって、生徒たちは様々なことに我慢や負担を強いられていました。しかし、ようやく手に入れたいつものどおりの学校生活の中で、思いっきり体育祭に取り組む姿は大変いきいきとしていました。勝って喜ぶ笑顔あり、負けて悔しさを滲ませる渋面あり、まさに悲喜こもごもの体育祭です。先輩後輩の枠を超えて同じ色団の選手を応援する姿や、その応援を励みに必死に頑張る姿からは、生徒同士の中にある強い結びつきが感じられました。上下だけでなく、シューズや帽子までチームカラーで揃えたウェアに身を包んだ担任たちは、熱い思いを言葉に載せて、生徒たちを鼓舞していて、その思いに応じて頑張る生徒たちの姿との間には、信頼の絆が感じられました。勝負は時の運。勝つチームがあれば負けるチームもあります。勝って得られるものもありますが、負けなければ得られないものもあります。大切なのは勝ち負けでなく、そこで何を得たかです。

体育祭を通して得るものはいろいろありますが、寺尾中の生徒たちにぜひ考えてもらいたいのは、「自己肯定感」と「自己有用感」を感じられたかということです。「自己肯定感」とは、一言で言えば「自分もやれば意外とできるじゃん」という思いです。そして「自己有用感」とは、端的に言えば「自分もチームや仲間たちのために役立つことができたな」という思いです。今回の体育祭をやりきって、この二つの思いを感じられたとしたら、きっとその人は最高の1日を過ごせたと言えるでしょう。

今年度は折り返しを過ぎたとは言え、年度末までまだ五ヶ月あります。これからも様々な場面で「自己肯定感」と「自己有用感」を感じられるよう、何事にも前向きな気持ちで、チャレンジ精神を失わずに取り組んでほしいものです。「感動は挑戦から」です



◆全体順位

- 1位：青団
- 2位：緑団
- 3位：赤団
- 4位：黄団

◇学年順位

- 1位 1-1
- 2-4
- 3-3
- 2位 1-2
- 2-3
- 3-1

11月の事予定

1	月	市学調（3年）③ 後期時間割開始
2	火	学校朝会
3	水	文化の日
4	木	全校三者面談①
5	金	全校三者面談②
6	土	
7	日	
8	月	全校三者面談③
9	火	全校三者面談④ 表彰朝会
10	水	全校三者面談⑤
11	木	全校三者面談⑥ 尿検査2次
12	金	尿検査2次
13	土	
14	日	県民の日
15	月	安全点検 てらりんびっく(数学)
16	火	学年朝会(1年)
17	水	学年朝会(2年)
18	木	学年朝会(3年)
19	金	B日課 生徒会専門委員会
20	土	
21	日	
22	月	教育実習(~12/10)
23	火	勤労感謝の日
24	水	3年期末テスト①
25	木	3年期末テスト②
26	金	命の講座 学校評議員会議
27	土	
28	日	
29	月	
30	火	生徒朝会

※詳細な日程・予定等は各学年だより等を参照下さい。

◆川越市中学校夏季研修大会ソフトテニス男子
優勝

◆川越市環境月間ポスターコンクール 銅賞

◆川越市水道週間ポスターコンクール 銅賞

◆川越市科学教育振興展覧会

HP用のため、氏名等の掲載は
していません



市内駅伝大会 男女ともに大健闘

男子Aチーム：第4位

Bチーム：第15位

女子Aチーム：準優勝

Bチーム：第12位



表彰の記録

◆第74回川越市民体育祭（前号の続き）

女子800m 1年 1位

女子400R 1年 1位

女子400R 1年 1位

女子400R 1年 1位

女子400R 1年 1位

男子110H 2位

女子200m 2位

女子800m 2位

女子100H 2位

女子砲丸投げ 2位

女子400R 2位

女子400R 2位

女子400R 2位

女子400R 2位

女子100m 3位

男子800m 3位

男子砲丸投げ 3位

女子走幅跳び 3位

※スペースの都合上、他の表彰者は次号で紹介します。

